

とやま シルバー110番だより

第113号

令和元年6月発行

(福)富山県社会福祉協議会
富山県高齢者総合相談センター
富山市安住町5番21号サンシップとやま2階
TEL(076)441-4110
認知症はっと電話相談 専用電話番号
TEL(076)432-6580
FAX(076)432-6532
http://www.toyama-shakyo.or.jp/korei



総務省統計局データによると、国際比較で見ると総人口に占める日本の高齢者人口の割合は、28.1%となっており、世界で最高です。

「人生100年時代」と言われている中、高齢者やその家族の方々などが抱えておられる心配ごと、悩みごとは多様化しています。

今回の『とやまシルバー110番だより』は、平成30年度に当センターで受付した相談内容と傾向について特集します。

高齢者人口の割合（2018年）

順位	国名	総人口 (万人)	65歳以上人口 (万人)	総人口に占める65歳以上人口の割合 (%)
1	日本	12,642	3,557	28.1
2	イタリア	5,929	1,382	23.3
3	ポルトガル	1,029	225	21.9
4	ドイツ	8,229	1,783	21.7
5	フィンランド	554	120	21.6

注) 日本は、9/15 現在。他国は7/1 現在。

【参考】総務省 統計トピックスNO.113 より



高齢者総合相談センター 平成30年度相談実績

平成30年度の相談件数は、2,410件でした。心配ごとや悩みごとなど、日常生活の一般相談が1,686件、健康・介護、税金、法律についての専門相談が697件でした。

また、認知症はっと電話相談は27件でした。

相談内容と傾向

【家族・家庭】

例年、保険・医療が最上位を占めていましたが、平成30年度は、家族・家庭の相談が最上位でした。

相談内容は『人生・家庭』に関してが多く、独居による孤立化が現代の高齢化社会を反映しています。

また、ご近所づきあい等を含めた『家庭生活の悩み』についての相談も増えています。

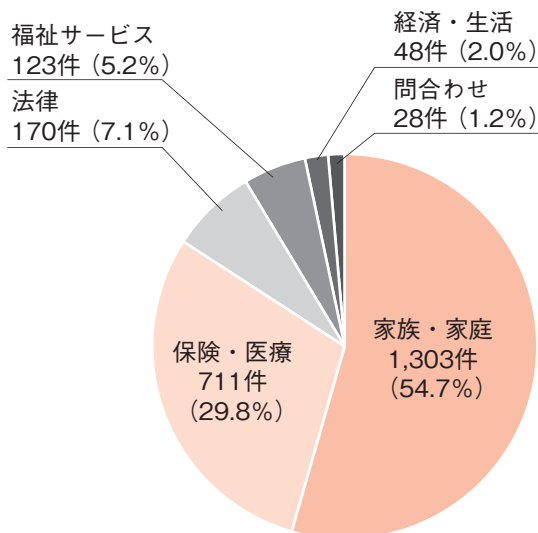
【保健・医療】

保健・医療の相談内容は『保健衛生』が多く、次いで『医療相談』でした。

【法律】

法律の相談内容は『財産・金銭』が多く、遺産相続全般の相談や、金銭貸借等金銭に関わる相談が中心でした。

相談分類



専門相談員から

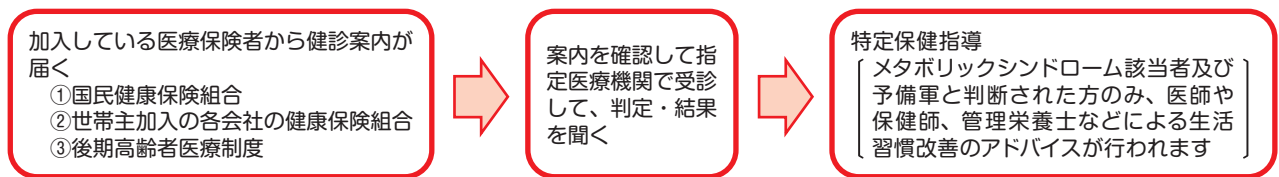
今年も「特定健康診査」と「がん検診」を受けて、健康状態を確認しましょう

富山県高齢者総合相談センター 専門相談員 保健師 中川都子

きちんと特定健康診査とがん検診を受け、体にどのような変化が起きているかなどを知ることが、健康寿命をのばすうえでとても大切です。

特定健康診査とは？

- ・目的：生活習慣病を引き起こすメタボリックシンドローム該当者及び予備軍を早期に発見し予防するため
- ・対象者：40歳以上の国民健康保険被保険者や各会社の健康保険組合員及び後期高齢者
- ・特定健康診査の受け方



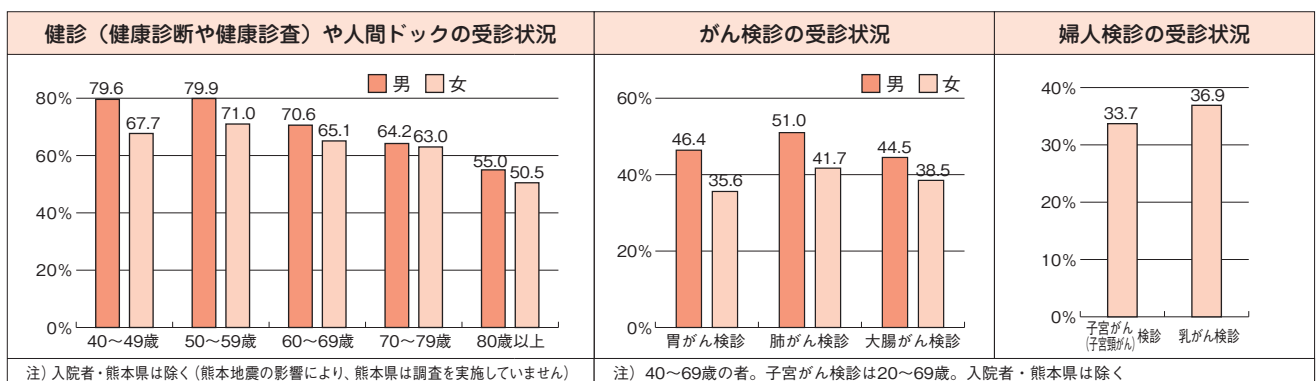
- ・基本の検査項目：問診、身体測定、診察、血圧測定、血液検査、尿検査
- ・詳細な健康診査項目：貧血検査・心電図検査・眼底検査・血清クレアチニン検査（一定の基準の下、医師が必要とした74歳未満者の方）

がん検診とは？

- ・目的：がんを早期に発見し、治療に結びつけます。
- ・対象者：国民健康保険の被保険者や健康保険組合加入者の家族
- ・種別：胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺がん

※市町村によって費用は異なりますが、無料か一部自己負担で済みます。案内通知書でご確認ください。

知っていますか？受診状況を！！



参考までに！受診しない理由の上位6位までは

特定健康診査などを受けなかった理由(複数回答)		がん検診を受けなかった理由(複数回答)	
心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	33.5%	受ける時間がないから	30.6%
時間がとれなかったから	22.8%	健康状態に自信があり、必要性を感じないから	29.2%
めんどうだから	20.2%	心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	23.7%
費用がかかるから	14.9%	費用がかかり経済的にも負担になるから	15.9%
毎年受ける必要性を感じないから	9.7%	がんであると分かるのが怖いから	11.7%
その時医療機関に入院していたから	9.6%	うっかり受診するのを忘れてしまっているから	8.2%

健康は人生における最高の宝物です。自分自身のためだけではなく、家族や社会にとってもかけがいのないものです。「自分の健康は自分で作り、自分で守るために」必ず受けましょう。

参考) 平成28年 国民生活基礎調査の概況（厚生労働省）
平成28年度 がん対策に関する世論調査（内閣府）

相談日程のご案内(令和元年6月～令和元年8月の日程)

相談種別	相談日時	相談員	相談内容
一般相談	月～金曜日 午前9時～正午 午後1時～午後5時	一般相談員	心配ごとや悩みごとなど、日常生活のいろいろな問題に関する相談
専門相談	健康・介護相談 火～金曜日 午前10時～正午 午後1時～午後4時	保健師	疾病、認知症の予防や日常の健康管理、介護の仕方に関する相談
	税金相談 第2・4水曜日 6月 12日 26日 7月 10日 24日 8月 14日 28日 午後1時～4時	税理士	相続税、所得税などの税金に関する相談
	年金相談 第1・3木曜日 6月 6日 20日 7月 4日 18日 8月 1日 15日 午後1時～4時	社会保険労務士	国民・厚生年金、健康保険、雇用保険、その他社会保険全般、労働問題などに関する相談
	法律相談(来所のみ) 金曜日(予約制) 6月 7日 14日 21日 28日 7月 5日 12日 8月 2日 9日 23日 30日 午後1時～4時	弁護士	家庭問題、相続、遺言、金銭問題、損害賠償などの法律に関する相談
認知症ほっと電話相談	土・日曜日 午前10時～午後4時	保健師 看護師	認知症やその家族の悩みごとに関する相談

シルバー110番 相談電話

よい シルバー 110番
☎ (076) 441-4110

認知症ほっと電話相談

ろごはれ
☎ (076) 432-6580

相談員だより

高齢者世帯が増加し、家族機能の低下や地域のつながりが希薄化するなど、高齢者を取り巻く環境は大きく変化しており、『シルバー110番』『認知症ほっと電話』に寄せられる相談も多様化しています。

- *「お父さんの様子がおかしい、もしかして認知症？」
- *「認知症のおばあちゃんにどう対応しているのかわからない」
- *「ご近所付き合いで悩んでいる…」など

当センターでは、高齢者やその家族の方々などが抱えておられる心配ごと、悩みごとについて、電話・来所・文書(郵送・Eメール)にて受け付けています。

相談は無料で、秘密は守られます。

お気軽にお問い合わせください。

ご相談したい事があるのですが…

どんな事でお困りですか？

